

# 国民医療を守るための国民運動

## ～総決起大会、県民の健康と医療を考える会総会～

[ 報告 : 常任理事 今村 孝子 ]

### 国民医療を守るための総決起大会

「国民が将来にわたり必要な医療・介護を安心して十分に受けられるための適切な財源の確保」や、「国民と医療機関等に不合理な負担を強いている医療等に係る消費税問題の抜本的な解決」を求めするために、医療関係 40 団体で構成された国民医療推進協議会（会長：横倉義武 日本医師会長）が主催する「国民医療を守るための総決起大会」が平成 29 年 11 月 22 日（水）14 時から憲政記念館講堂にて開催され、本会から河村会長、吉本副会長、林 専務理事、中村理事とともに参加した。会場には国会議員を含む関係者約 800 人が集結した。

日本医師会の今村定臣 常任理事による開会宣言の後、横倉会長から「安倍総理は平成 30 年春の労使交渉における 3% の賃上げを求めているが、全就業者の 11.9% を占める 300 万人の医療従事者についてもしっかり手当をしなければならず、そこに財源を充てなければ医療機関は倒産し、地域医療も崩壊すれば地域住民が一番困ることから、国民皆保険を堅持し、国民間で医療・介護の享受到格差が生じないように必要な財源を確保しなければならない。」等の挨拶があった。

次に、東京都医師会の尾崎治夫 会長の挨拶、来賓（高村正彦 自民党副総裁、榎屋敬悟 公明党副代表）による挨拶の後、日本医師会の今村 聡副会長より趣旨説明があった。

続いて、日本歯科医師会の堀 憲郎 会長、日本薬剤師会の山本信夫 会長、及び日本看護協会の福井トシ子 会長による決意表明に引き続いて全日本病院協会の猪口雄二 会長が決議文を読み上げ、日本医師会の松原謙二 副会長の頑張ろうコールに合わせて氣勢を上げて会は終了した。

### 県民の健康と医療を考える会総会

本県では平成 29 年 12 月 19 日（火）の 19 時 30 分から県医師会 6 階会議室にて「県民の健康と医療を考える会」総会を開催した。趣旨は 17 団体で構成する県民の健康と医療を考える会により、上記「国民医療を守るための総決起大会」における決議と同様の決議の採択を目的としたものである。会の代表である本会の河村会長の挨拶に続いて吉本副会長による趣旨説明の後、下記の決議文及び請願について採択・承認し閉会した。

### 決 議

世界に類を見ない少子高齢社会において、国民が生涯にわたり健やかでいきいきと活躍し続ける社会を実現していくためには、持続可能な社会保障制度の確立が不可欠である。

よって、本協議会の総意として、次のとおり要望する。

- 一、国民が将来にわたり必要な医療・介護を安心して十分に受けられるための適切な財源の確保
- 一、国民と医療機関等に不合理な負担を強いている医療等に係る消費税問題の抜本的な解決

以上、決議する。

平成 29 年 12 月 19 日

県民の健康と医療を考える会

### 県民の健康と医療を考える会

山口県医師会	山口県歯科医師会
山口県薬剤師会	山口県看護協会
山口県栄養士会	山口県作業療法士会
山口県歯科衛生士会	山口県歯科技工士会
山口県鍼灸師会	山口県病院協会
山口県診療放射線技師会	山口県理学療法士会
山口県臨床検査技師会	山口県老人クラブ連合会
山口県助産師会	山口県女性団体連絡協議会
山口県臨床工学技士会	